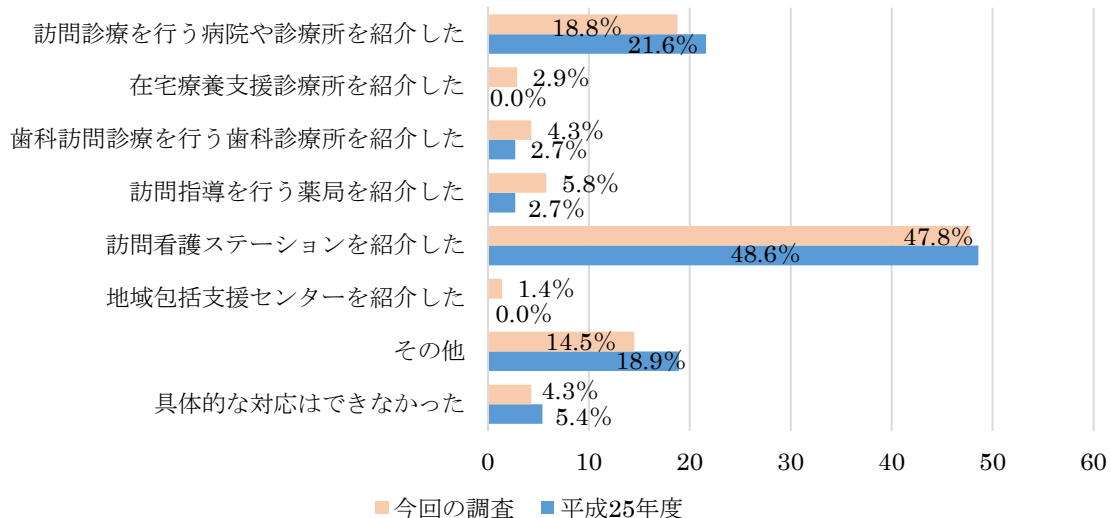


相談の内容（居宅介護支援事業所）



⑤対応できなかった理由（居宅介護支援事業所）

前設問において、「具体的な対応はできなかった」3件についての理由は、「その他」となっており、具体的には「本人・家族の利用希望がないため」という内容であった。

○居宅介護支援事業所	今回の調査	平成 25 年度
在宅医療を行う病院や診療所の情報がなかったから	0	0
在宅医療の仕組みなどについて理解していなかったから	0	0
相談内容から、在宅医療は困難と考えたから	0	1
その他	3	1

(6) 関係機関との連携について

①連携状況（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所）

病院・診療所では「訪問看護ステーション」が8医療機関と最も多く、「緊急時に入院可能な病院や有床診療所」「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」「薬局」「救急医療や高度医療を行う拠点的な病院」等との連携が多かった。前回の調査と比べて、「救急医療や高度医療を行う拠点的な病院」との連携が減る一方で、「緊急時に入院可能な病院や有床診療所」との連携が増加するとともに、「地域包括支援センター」や「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」との連携が増加している。

歯科診療所及び薬局は「日常の健康管理を行う身近な医療機関」が最も多かった。歯科診療所は「他の歯科診療所」や「救急医療や高度医療を行う拠点的な病院」「訪問看護ステーション」等、また、薬局については「訪問看護ステーション」や「地域包括支援センター」、「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」等、前回の調査と比べ新たな連携が見られた。

訪問看護ステーションは「日常の健康管理を行う身近な医療機関」「薬局」「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」「訪問介護事業所（ホームヘルパー）」「リハビリテーション施設・事業所」「行政機関（地域包括支援センターを除く）」がそれぞれ 100.0%であった。

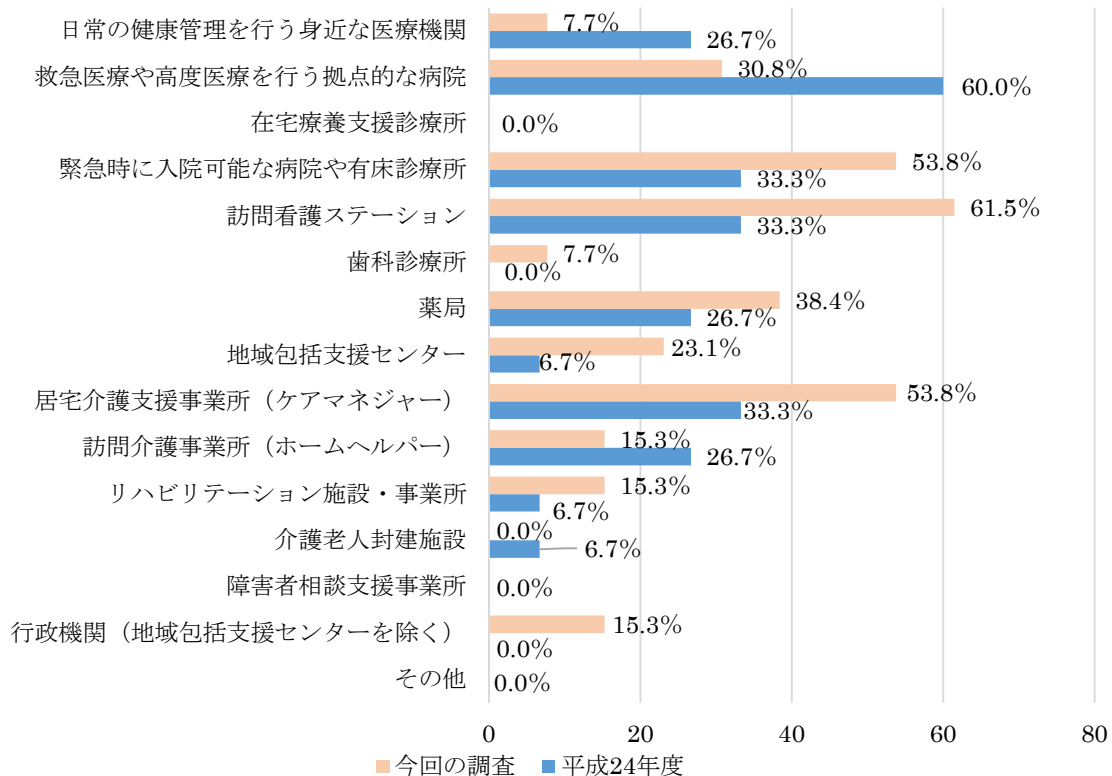
居宅介護支援事業所では「日常の健康管理を行う身近な医療機関」が最も多く 15 事業所 93.8%、次いで「訪問看護ステーション」が 14 事業所 87.5%「緊急時に入院可能な病院や有床診療所」「薬局」が、それぞれ 8 事業所 50.0%であった。

（単位：医療機関）（複数回答）

○病院・診療所（対象：13 医療機関）		今回の調査	平成 24 年度
	日常の健康管理を行う身近な医療機関	1 (7.7%)	4 (26.7%)
	救急医療や高度医療を行う拠点的な病院	4 (30.8%)	9 (60.0%)
	在宅療養支援診療所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	緊急時に入院可能な病院や有床診療所	7 (53.8%)	5 (33.3%)
	訪問看護ステーション	8 (61.5%)	5 (33.3%)
	歯科診療所	1 (7.7%)	0 (0.00%)
	薬局	5 (38.4%)	4 (26.7%)
	地域包括支援センター	3 (23.1%)	1 (6.7%)
	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	7 (53.8%)	5 (33.3%)
	訪問介護事業所（ホームヘルパー）	2 (15.3%)	4 (26.7%)
	リハビリテーション施設・事業所	2 (15.3%)	1 (6.7%)
	介護老人保健施設	0 (0.00%)	1 (6.7%)
	障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	行政機関（地域包括支援センターを除く）	2 (15.3%)	0 (0.00%)
	その他	0 (0.00%)	0 (0.00%)

連携状況（病院・診療所）

（複数回答）

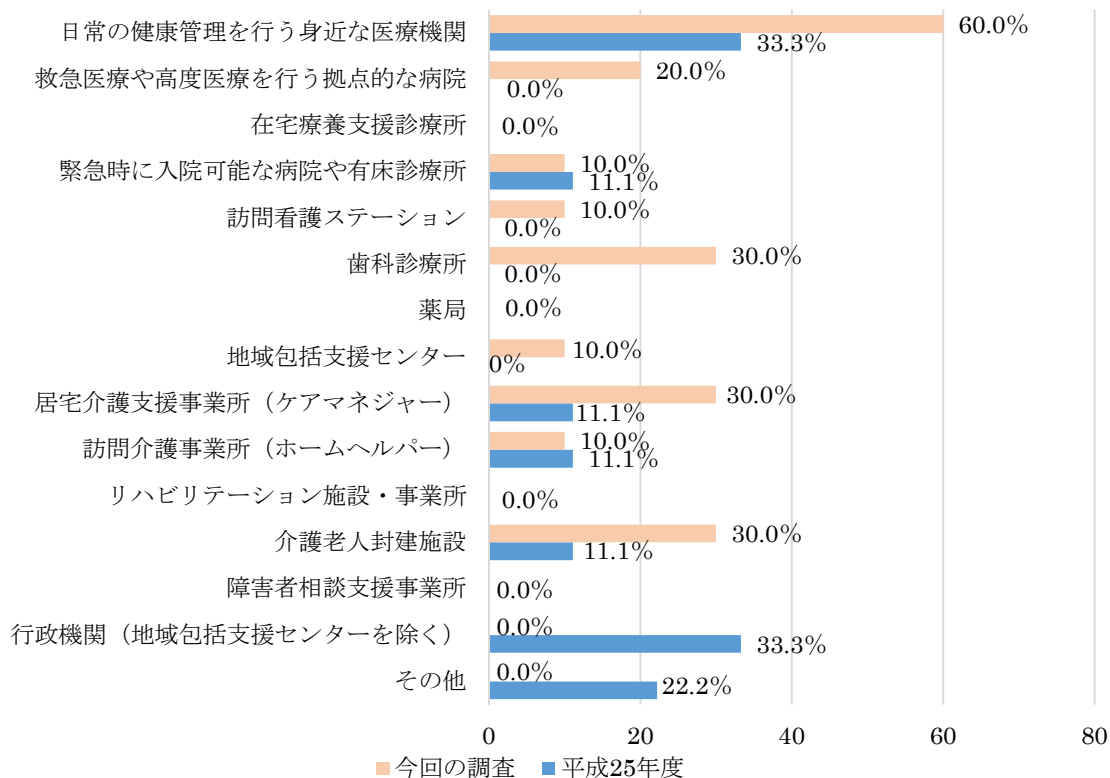


（単位：歯科診療所）（複数回答）

○歯科診療所（対象：10 歯科診療所）	今回の調査	平成 25 年度
日常の健康管理を行う身近な医療機関	6 (60.0%)	3 (33.3%)
救急医療や高度医療を行う拠点的な病院	2 (20.0%)	0 (0.00%)
在宅療養支援診療所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
緊急時に入院可能な病院や有床診療所	1 (10.0%)	1 (11.1%)
訪問看護ステーション	1 (10.0%)	0 (0.00%)
歯科診療所	3 (30.0%)	0 (0.00%)
薬局	0 (0.00%)	0 (0.00%)
地域包括支援センター	1 (10.0%)	0 (0.00%)
居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	3 (30.0%)	1 (11.1%)
訪問介護事業所（ホームヘルパー）	1 (10.0%)	1 (11.1%)
リハビリテーション施設・事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
介護老人保健施設	3 (30.0%)	1 (11.1%)
障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
行政機関（地域包括支援センターを除く）	0 (0.00%)	3 (33.3%)
その他	0 (0.00%)	2 (22.2%)

連携状況（歯科診療所）

（複数回答）

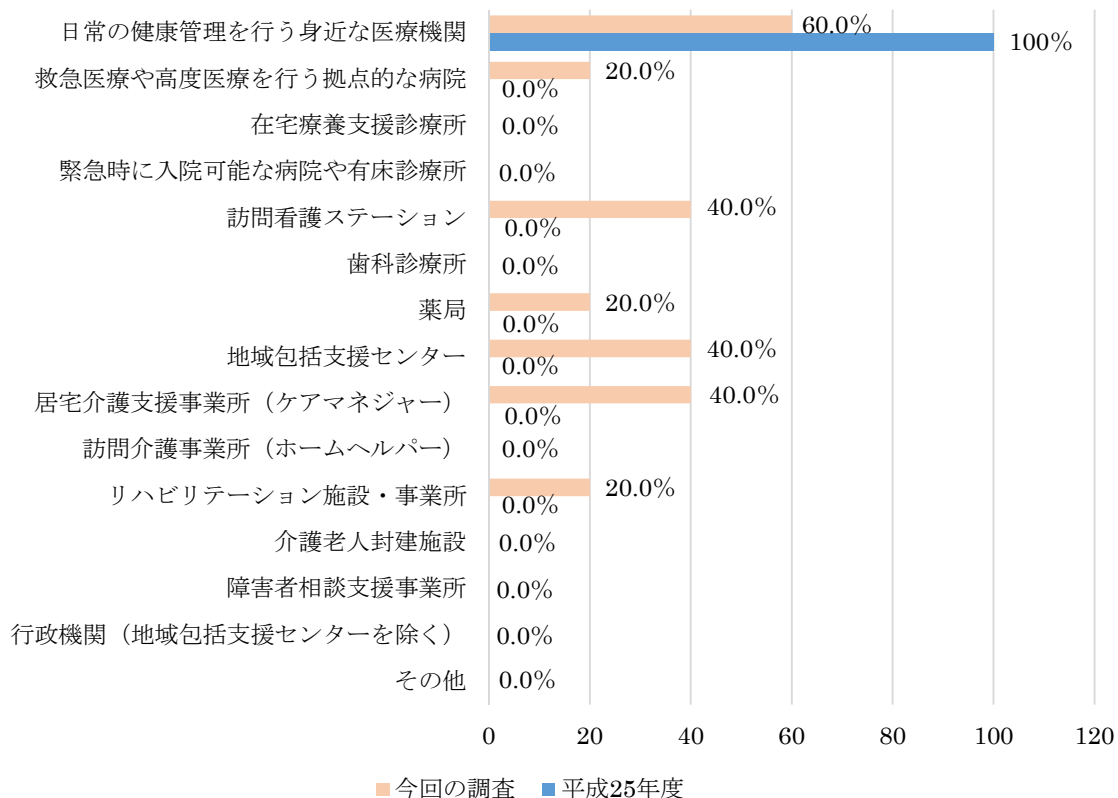


（単位：事業所）（複数回答）

○薬局（対象：5事業所）	今回の調査	平成25年度
日常の健康管理を行う身近な医療機関	3 (60.0%)	2 (100.0%)
救急医療や高度医療を行う拠点的な病院	1 (20.0%)	0 (0.00%)
在宅療養支援診療所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
緊急時に入院可能な病院や有床診療所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
訪問看護ステーション	2 (40.0%)	0 (0.00%)
歯科診療所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
他の薬局	1 (20.0%)	0 (0.00%)
地域包括支援センター	2 (40.0%)	0 (0.00%)
居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	2 (40.0%)	0 (0.00%)
訪問介護事業所（ホームヘルパー）	0 (0.00%)	0 (0.00%)
リハビリテーション施設・事業所	1 (20.0%)	0 (0.00%)
介護老人保健施設	0 (0.00%)	0 (0.00%)
障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
行政機関（地域包括支援センターを除く）	0 (0.00%)	0 (0.00%)
その他	0 (0.00%)	0 (0.00%)

連携状況（薬局）

（複数回答）

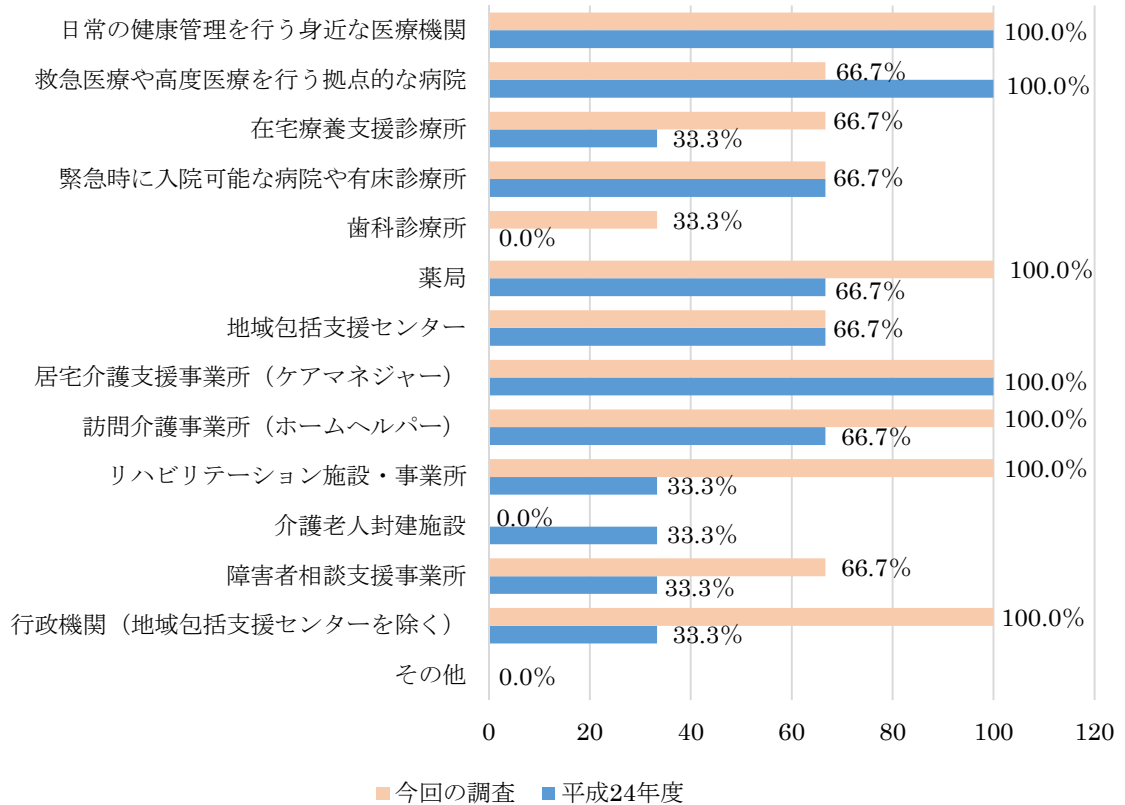


（単位：事業所）（複数回答）

○訪問看護ステーション（対象：3事業所）	今回の調査	平成24年度
日常の健康管理を行う身近な医療機関	3（100.0%）	3（100.0%）
救急医療や高度医療を行う拠点的な病院	2（66.7%）	3（100.0%）
在宅療養支援診療所	2（66.7%）	1（33.3%）
緊急時に入院可能な病院や有床診療所	2（66.7%）	2（66.7%）
歯科診療所	1（33.3%）	0（0.00%）
薬局	3（100.0%）	2（66.7%）
地域包括支援センター	2（66.7%）	2（66.7%）
居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	3（100.0%）	3（100.0%）
訪問介護事業所（ホームヘルパー）	3（100.0%）	2（66.7%）
リハビリテーション施設・事業所	3（100.0%）	1（33.3%）
介護老人保健施設	0（0.00%）	1（33.3%）
障害者相談支援事業所	2（66.7%）	1（33.3%）
行政機関（地域包括支援センターを除く）	3（100.0%）	1（33.3%）
その他	0（0.00%）	0（0.00%）

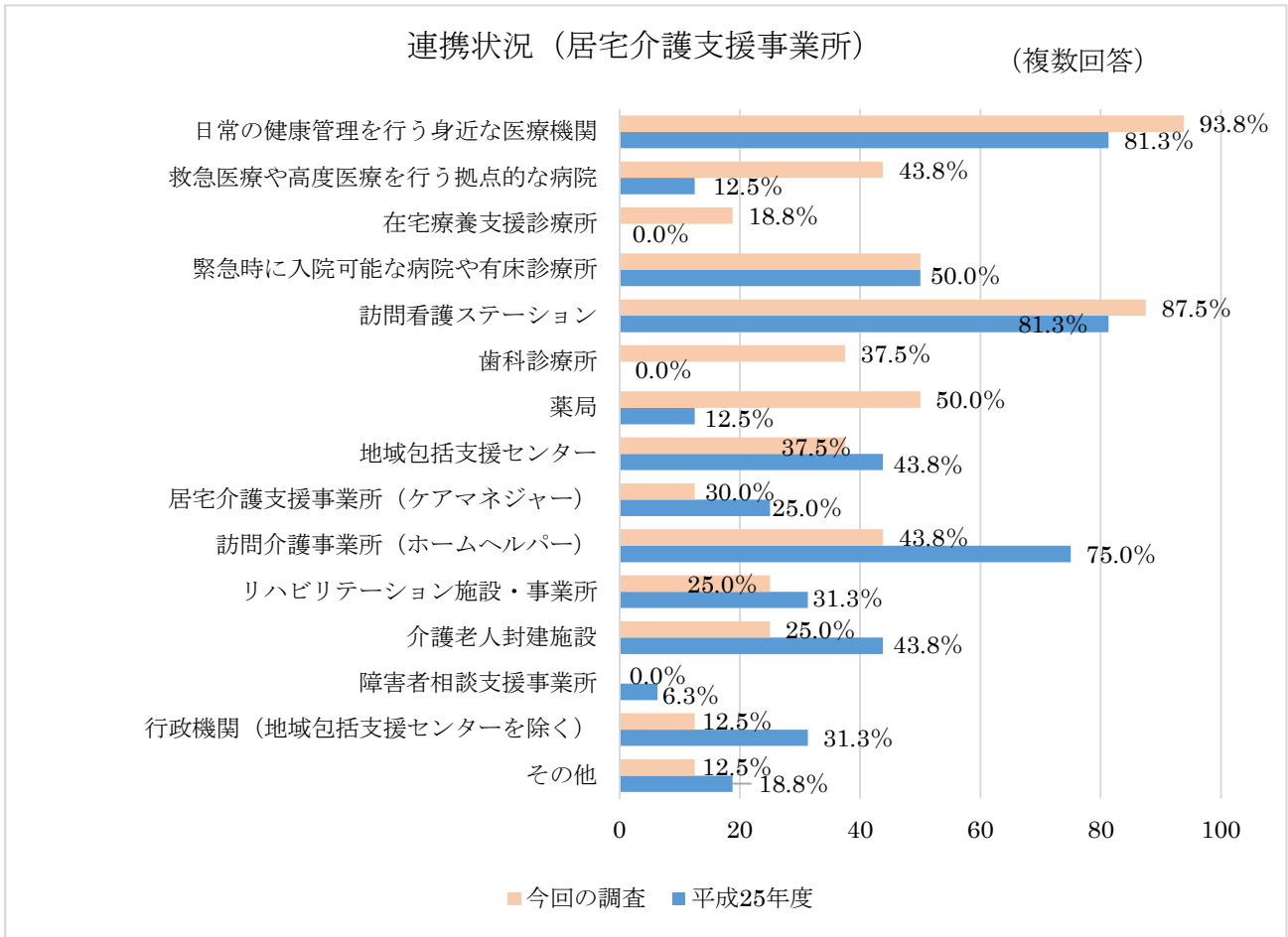
連携状況（訪問看護ステーション）

（複数回答）



（単位：事業所）（複数回答）

○居宅介護支援事業所（対象：16事業所）	今回の調査	平成25年度
日常の健康管理を行う身近な医療機関	15 (93.8%)	13 (81.3%)
救急医療や高度医療を行う拠点的な病院	7 (43.8%)	2 (12.5%)
在宅療養支援診療所	3 (18.8%)	0 (0.00%)
緊急時に入院可能な病院や有床診療所	8 (50.0%)	8 (50.0%)
訪問看護ステーション	14 (87.5%)	13 (81.3%)
歯科診療所	6 (37.5%)	0 (0.00%)
薬局	8 (50.0%)	2 (12.5%)
地域包括支援センター	6 (37.5%)	7 (43.8%)
他の居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	2 (12.5%)	4 (25.0%)
訪問介護事業所（ホームヘルパー）	7 (43.8%)	12 (75.0%)
リハビリテーション施設・事業所	4 (25.0%)	5 (31.3%)
介護老人保健施設	4 (25.0%)	7 (43.8%)
障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	1 (6.3%)
行政機関（地域包括支援センターを除く）	2 (12.5%)	5 (31.3%)
その他	2 (12.5%)	3 (18.8%)

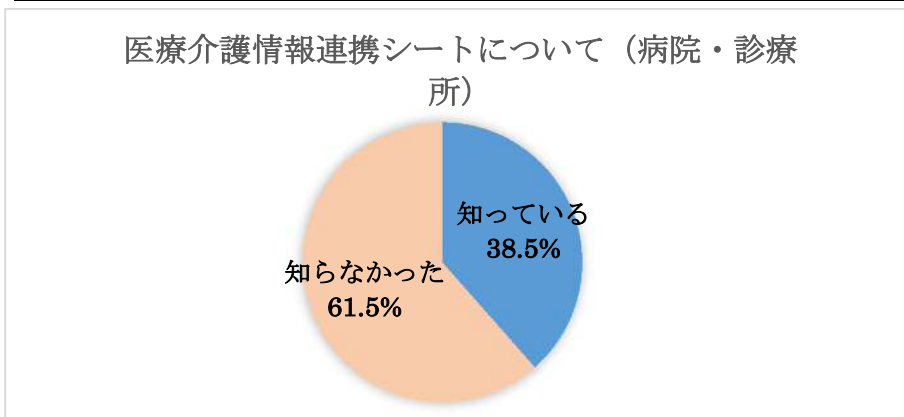


②医療介護情報連携シートの認知（病院・診療所）

医療介護情報連携シートについて、「知っている」と答えた病院・診療所は 38.5%で半数に届かなかった。

（単位：医療機関）

○病院・診療所（対象：13 医療機関）		今回の調査
知っている		5（38.5%）
知らなかった		8（61.5%）



③医療介護情報連携シートの活用（病院・診療所）

前設問で「知っている」と答えた病院・診療所5医療機関のうち、「使ったことがある」のは2医療機関40.0%であった。

（単位：医療機関）

○病院・診療所（対象：5医療機関）		今回の調査
	使ったことがある	2（40.0%）
	使ったことはない	3（60.0%）

④医療介護情報連携シートの課題（病院・診療所）

医療介護情報連携シートの課題は、「必要性を感じているので、もっと利用するようにPRしてほしい」「提供する情報の項目について、もっと吟味したほうがよい」であった。

（単位：医療機関）

○病院・診療所（対象：5医療機関）		今回の調査
	必要性を感じているので、もっと利用するようにPRしてほしい	2（40.0%）
	提供する情報の項目について、もっと吟味したほうがよい	3（60.0%）
	電話で済むことをわざわざ文書化するのは現実的ではない	0（0.00%）

⑤医療介護間の情報連携に有効なツール（病院・診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション）

情報連携を行う手段は、病院・診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション共に、「その都度電話で情報連携を図る」が最も多かった。また、「医療介護情報連携シートを活用する」は、病院・診療所で、4医療機関30.8%であった。

（単位：医療機関）（複数回答）

○病院・診療所（対象：13医療機関）		今回の調査
	その都度電話で情報連携を図る	10（76.9%）
	医療介護情報連携シートを活用する	4（30.8%）
	独自の様式で、提供情報をデータ送信する	1（7.7%）
	情報連携の必要はほとんど感じない	0（0.00%）
	その他	1（7.7%）

(単位：歯科診療所) (複数回答)

○歯科診療所 (対象：10 歯科診療所)		今回の調査
	その都度電話で情報連携を図る	8 (80.0%)
	医療介護情報連携シートを活用する	0 (0.00%)
	独自の様式で、提供情報をデータ送信する	0 (0.00%)
	情報連携の必要はほとんど感じない	0 (0.00%)
	その他	3 (30.0%)

(単位：事業所) (複数回答)

○訪問看護ステーション (対象：3 事業所)		今回の調査
	その都度電話で情報連携を図る	3 (100.0%)
	医療介護情報連携シートを活用する	0 (0.00%)
	独自の様式で、提供情報をデータ送信する	1 (33.3%)
	情報連携の必要はほとんど感じない	0 (0.00%)
	その他	3 (100.0%)

⑥地域医療介護情報連携システムの利用

(病院・診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所)

病院・診療所は「どちらでもよい」が最も多く 5 医療機関 38.5%で、「是非、利用してみたい」は 3 医療機関 23.1%であった。

薬局、訪問看護ステーション、介護老人保健施設及び居宅介護支援事業については、それぞれ「是非、利用してみたい」が最も多かった。

(単位：医療機関)

○病院・診療所 (対象：13 医療機関)		今回の調査
	是非、利用してみたい	3 (23.1%)
	利用しなくてよい	4 (30.8%)
	どちらでもよい	5 (38.5%)
	不明	1 (7.7%)

(単位：事業所)

○薬局 (対象：5 事業所)		今回の調査
	是非、利用してみたい	4 (80.0%)
	利用しなくてよい	0 (0.00%)
	どちらでもよい	1 (20.0%)

(単位：事業所)

○訪問看護ステーション（対象：3事業所）		今回の調査
	是非、利用してみたい	2 (66.7%)
	利用しなくてよい	0 (0.00%)
	どちらでもよい	1 (33.3%)

(単位：事業所)

○介護老人保健施設（対象：2事業所）		今回の調査
	是非、利用してみたい	2 (100.0%)
	利用しなくてよい	0 (0.00%)
	どちらでもよい	0 (0.00%)

(単位：事業所)

○居宅介護支援事業所（対象：16事業所）		今回の調査
	是非、利用してみたい	11 (68.8%)
	利用しなくてよい	1 (6.2%)
	どちらでもよい	3 (18.8%)
	不明	1 (6.2%)

⑦困難な事案等への対応（病院・診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設）

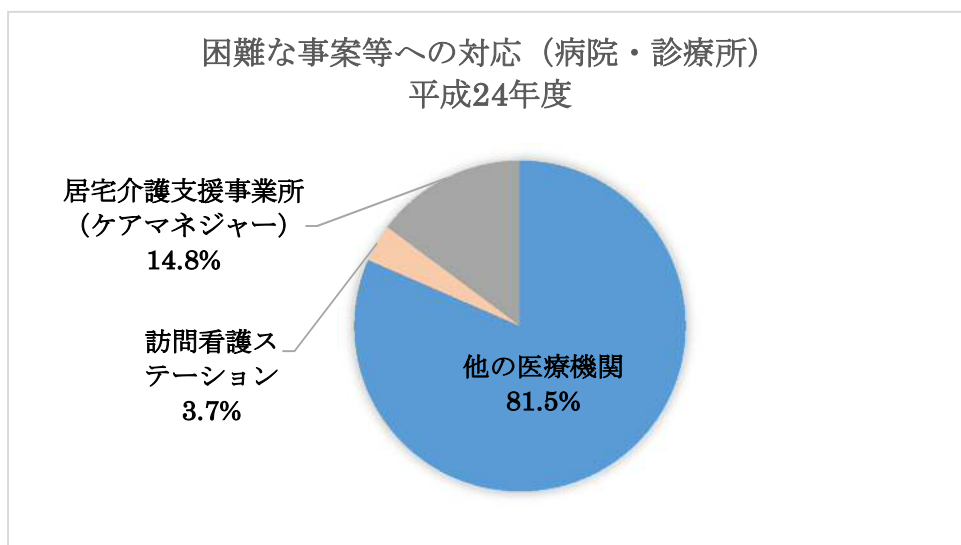
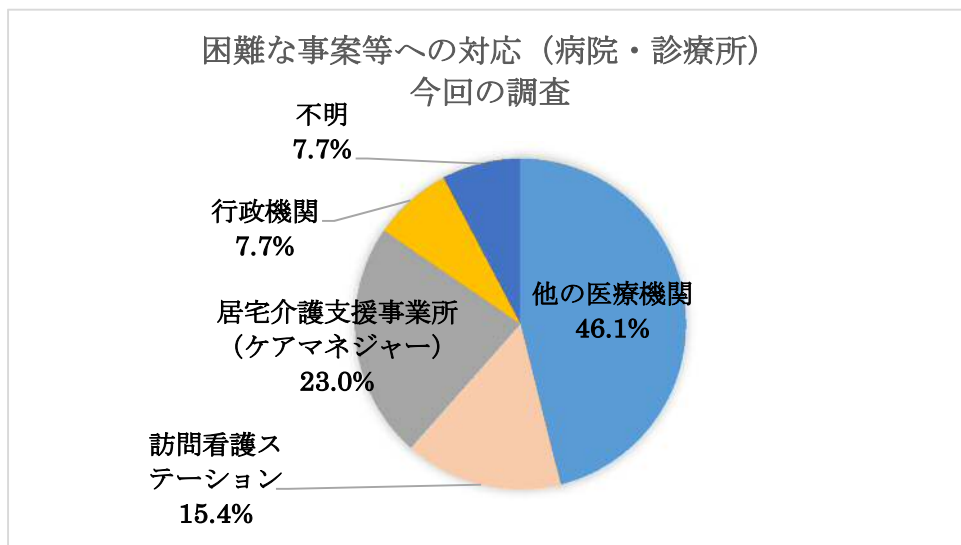
困難な事案に遭遇した場合の主な相談相手方として、病院・診療所では、前回の調査同様「他の医療機関」が最も多く 6 医療機関 46.0%で、次いで「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」が 3 医療機関 23.0%だった。

歯科診療所は「医療機関」が最も多く 3 医療機関 30.0%、訪問看護ステーションでは「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」が 3 事業所 100%となっている。

介護老人保健施設では 2 施設とも、実施経験がない、設備がない等の理由で実施できないサービスを求められたとき、「他の事業所を紹介する」としている。また、その際の情報の入手先は、他の病院や施設の相談員やケアマネジャー、インターネット等からとなっている。

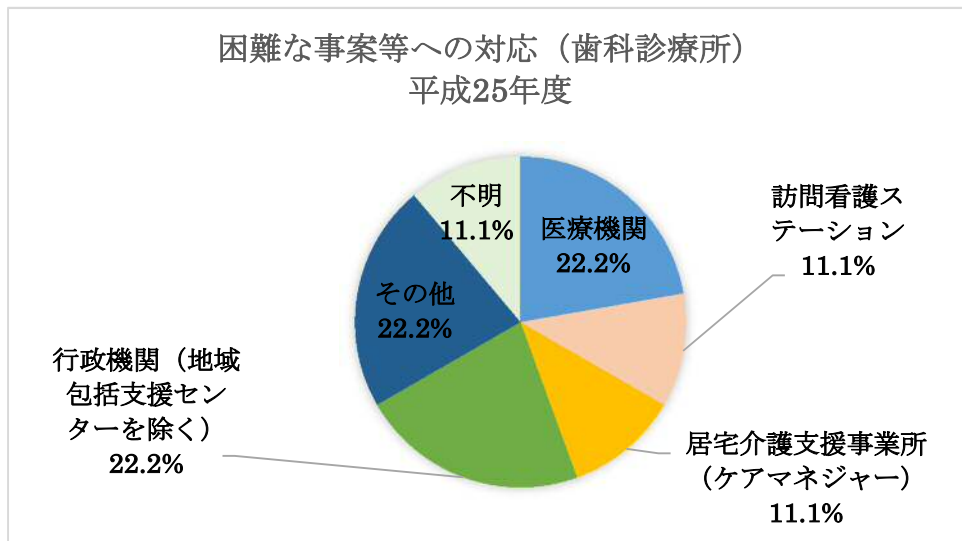
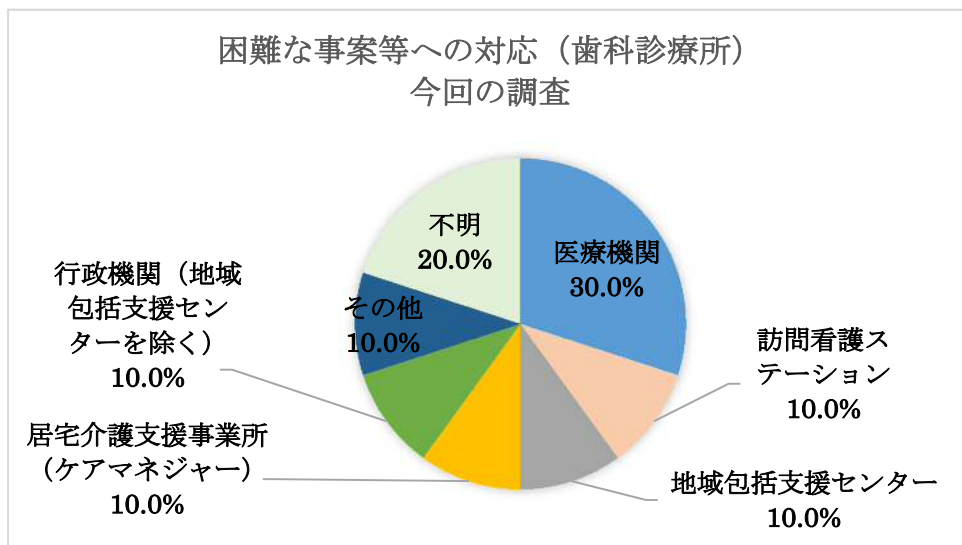
(単位：医療機関)

○病院・診療所（対象：13 医療機関）		今回の調査	平成 24 年度
	他の医療機関	6 (46.0%)	11 (73.3%)
	訪問看護ステーション	2 (15.4%)	2 (13.3%)
	地域包括支援センター	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	3 (23.0%)	2 (13.3%)
	障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	行政機関（地域包括支援センターを除く）	1 (7.7%)	0 (0.00%)
	その他	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	不明	1 (7.7%)	



(単位：歯科診療所)

○歯科診療所（対象：10 歯科診療所）		今回の調査	平成 25 年度
	医療機関	3 (30.0%)	2 (22.2%)
	訪問看護ステーション	1 (10.0%)	1 (11.1%)
	地域包括支援センター	1 (10.0%)	0 (0.00%)
	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	1 (10.0%)	1 (11.1%)
	障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	行政機関（地域包括支援センターを除く）	1 (10.0%)	2 (22.2%)
	その他	1 (10.0%)	2 (22.2%)
	不明	2 (20.0%)	1 (11.1%)



(単位：事業所)

○訪問看護ステーション（対象：3事業所）		今回の調査	平成24年度
	医療機関	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	訪問看護ステーション	0 (0.00%)	1 (33.3%)
	地域包括支援センター	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	3 (100.0%)	1 (33.3%)
	障害者相談支援事業所	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	行政機関（地域包括支援センターを除く）	0 (0.00%)	1 (33.3%)
	その他	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	不明	0 (0.00%)	0 (0.00%)

(単位：事業所)

○介護老人保健施設（対象：2事業所）		今回の調査	平成25年度
	紹介あり	2 (100.0%)	2 (100.0%)
	紹介なし	0 (0.00%)	0 (0.00%)

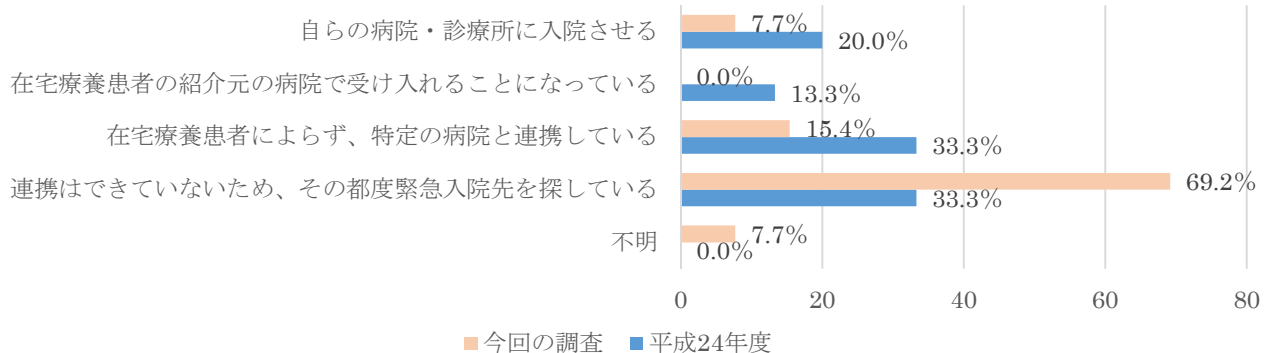
⑧緊急入院先の確保（病院・診療所）

在宅療養患者の急性増悪時の入院先の確保については、「連携はできていないため、その都度緊急入院先を探している」が最も多く9医療機関69.2%、「在宅療養患者によらず、特定の病院と連携している」は2医療機関15.4%となっている。

(単位：医療機関)

○病院・診療所（対象：13医療機関）		今回の調査	平成24年度
	自らの病院・診療所に入院させる	1 (7.7%)	3 (20.0%)
	在宅療養患者の紹介元の病院で受け入れることになっている	0 (0.00%)	2 (13.3%)
	在宅療養患者によらず、特定の病院と連携している	2 (15.4%)	5 (33.3%)
	連携はできていないため、その都度緊急入院先を探している	9 (69.2%)	5 (33.3%)
	不明	1 (7.7%)	

緊急入院先の確保（病院・診療所）



⑨入院していた医療機関との連携（薬局）

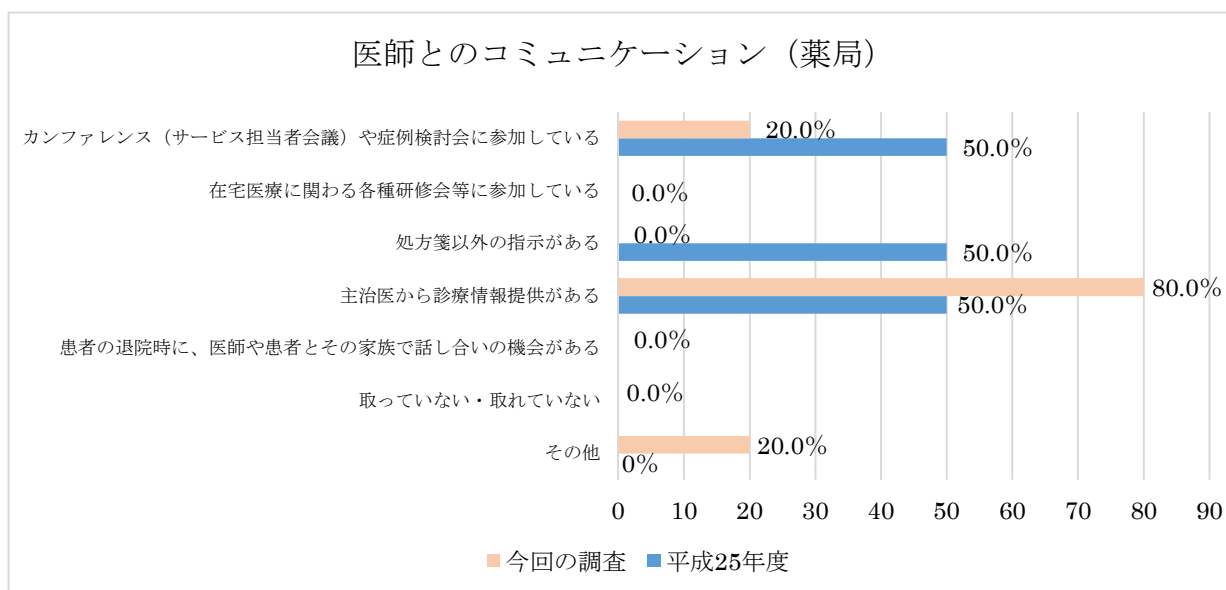
入院していた医療機関との「連携が図られている」薬局は1事業所20.0%で、他は本調査対象期間内においては、事例がなかった。（単位：事業所）

○薬局（対象：5事業所）		今回の調査	平成25年度
	連携が図られている	1 (20.0%)	0 (0.00%)
	連携が図られていない	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	事例がない	3 (60.0%)	2 (100.0%)
	不明	1 (20.0%)	

⑩医師とのコミュニケーション（薬局）

医師とのコミュニケーションは、主に「主治医から診療情報提供がある」が4事業所80.0%であった。（単位：事業所）（複数回答）

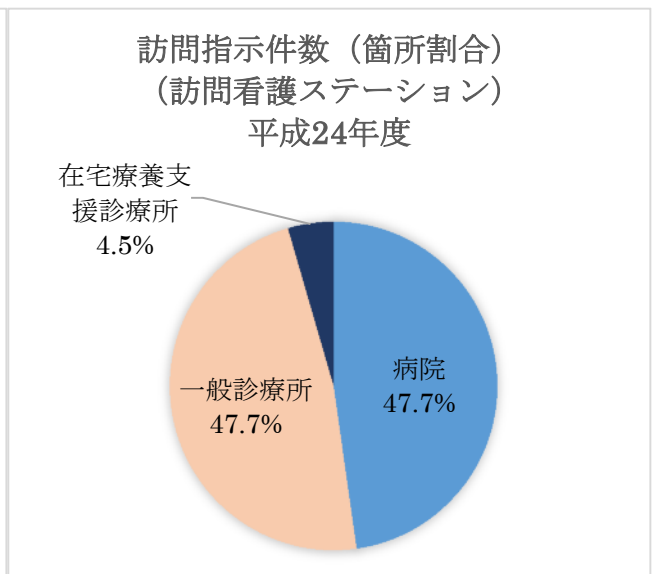
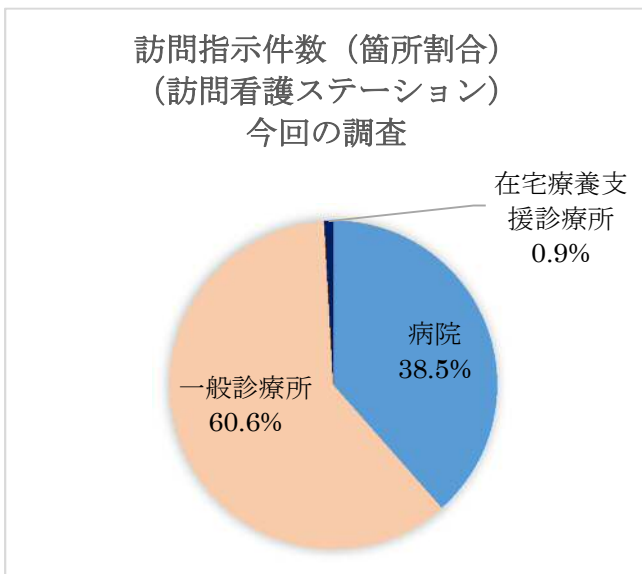
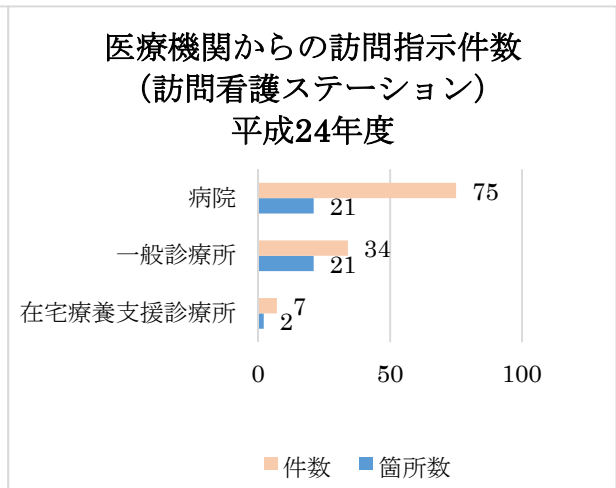
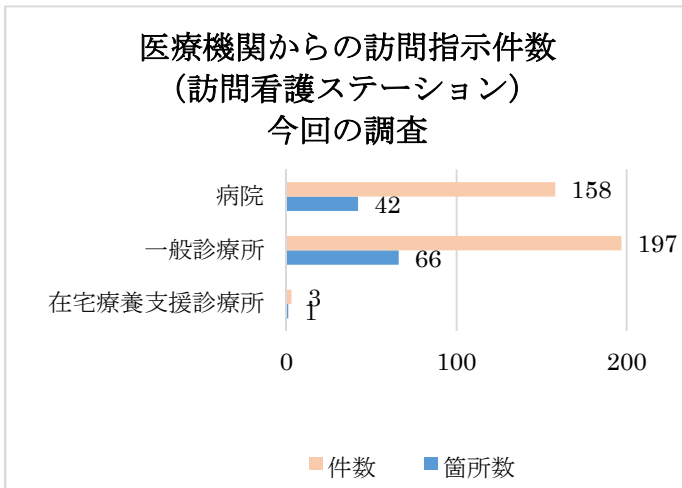
○薬局（対象：5事業所）		今回の調査	平成25年度
	カンファレンス（サービス担当者会議）や症例検討会に参加している	1 (20.0%)	1 (50.0%)
	在宅医療に関わる各種研修会等に参加している	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	処方箋以外の指示がある	0 (0.00%)	1 (50.0%)
	主治医から診療情報提供がある	4 (80.0%)	1 (50.0%)
	患者の退院時に、医師や患者とその家族で話し合いの機会がある	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	取っていない・取れていない	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	その他	1 (20.0%)	0 (0.00%)

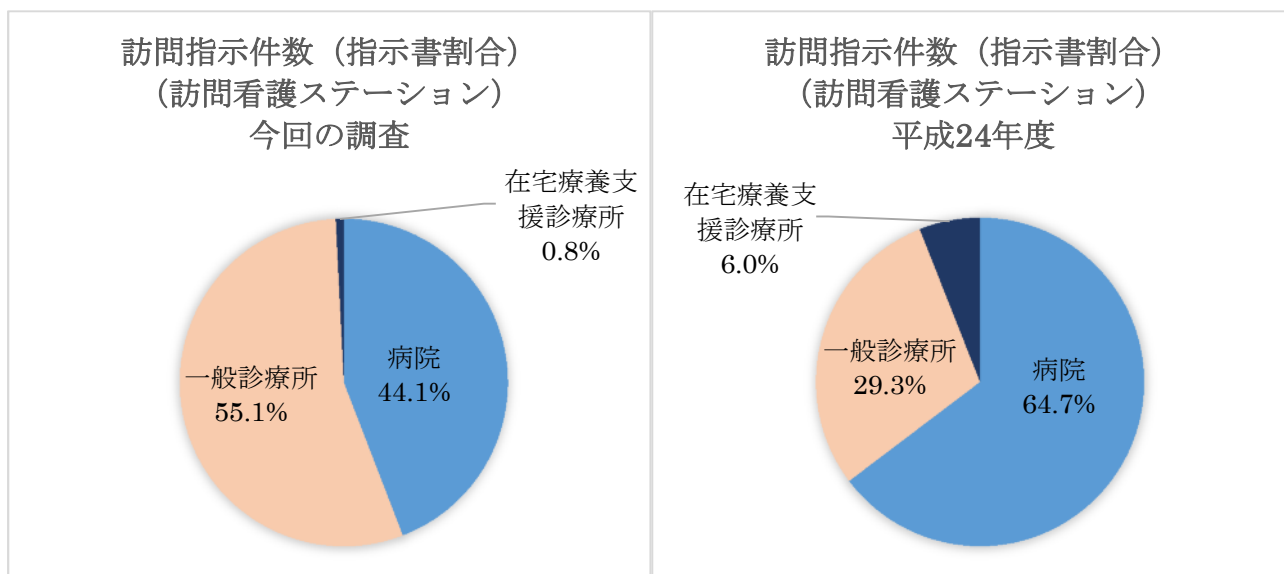


⑪訪問指示（訪問看護ステーション）

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の半年間における医療機関からの訪問指示件数は、病院から 42 ヶ所で 158 件（指示件数割合 44.1%）、一般診療所から 66 ヶ所で 197 件（指示件数割合 55.0%）、在宅療養支援診療所から 1 ヶ所で 3 件（指示件数割合 0.8%）であった。

○訪問看護ステーション		今回の調査		平成 24 年度	
		箇所	指示件数	箇所	指示件数
	病院	42 (38.5%)	158 (44.1%)	21 (47.7%)	75 (64.7%)
	一般診療所	66 (60.6%)	197 (55.0%)	21 (47.7%)	34 (29.3%)
	在宅療養支援診療所	1 (0.9%)	3 (0.8%)	2 (4.5%)	7 (6.0%)





⑫訪問指示を受ける上で困ること（訪問看護ステーション）

主治医からの指示を受ける上で困ることは、「指示書を書いてもらうまでに時間がかかる」、「その他」で、「その他」は「主治医が非常勤である場合」となっており、共に1事業所33.3%であった。（単位：事業所）（複数回答）

○訪問看護ステーション（対象：3事業所）	今回の調査	平成24年度
主治医がいない場合、その調整に時間がかかる	0 (0.00%)	0 (0.00%)
主治医が訪問看護の必要性を理解していない	0 (0.00%)	1 (33.3%)
複数の主治医がいる場合どの医師に指示を得るか判断が難しい	0 (0.00%)	1 (33.3%)
主治医のいる医療機関が距離的に遠いため、連絡しにくい	0 (0.00%)	0 (0.00%)
指示書を書いてもらうまでに時間がかかる	1 (33.3%)	2 (66.7%)
その他	1 (33.3%)	0 (0.00%)
特に困ることはない	1 (33.3%)	0 (0.00%)

⑬医師以外に連携する職種（薬局、訪問看護ステーション）

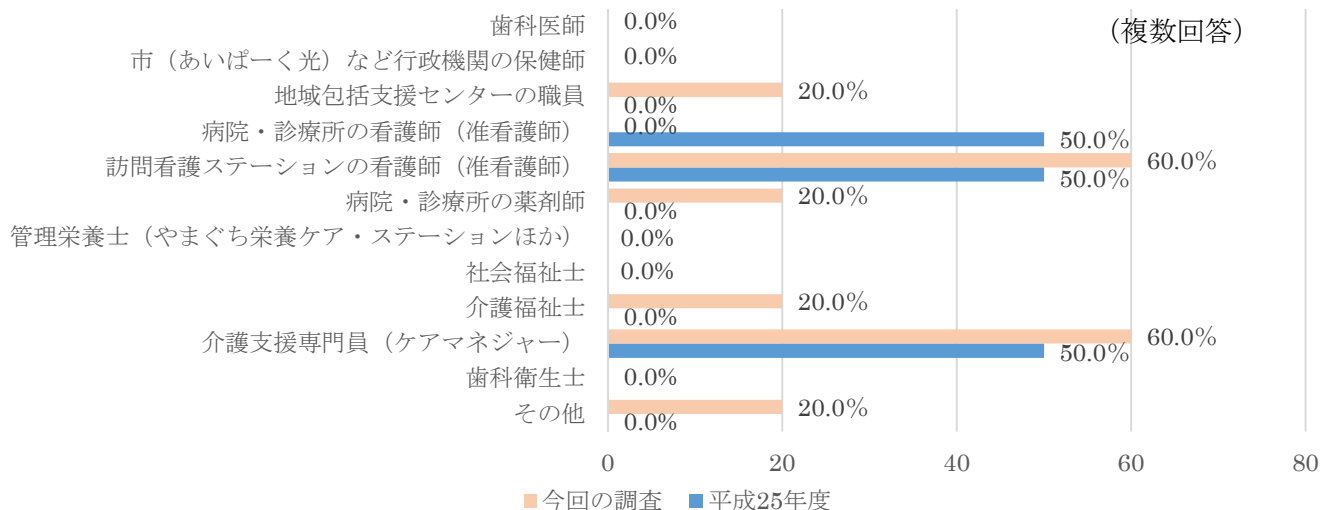
薬局では、医師以外に直接連携を図る職種として、「訪問看護ステーションの看護師（准看護師）」「介護支援専門員（ケアマネジャー）」がそれぞれ最も多く3事業所60.0%で、次いで「地域包括支援センターの職員」「病院・診療所の薬剤師」「介護福祉士」で、それぞれ1事業所20.0%であった。

訪問看護ステーションでは、「病院地域医療連携室担当者」及び「外来看護師」が最も多く、それぞれ3事業所100.0%であった。

(単位：事業所) (複数回答)

○薬局 (対象：5 事業所)		今回の調査	平成 25 年度
	歯科医師	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	市 (あいぱーく光) など行政機関の保健師	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	地域包括支援センターの職員	1 (20.0%)	0 (0.00%)
	病院・診療所の看護師 (准看護師)	0 (0.00%)	1 (50.0%)
	訪問看護ステーションの看護師 (准看護師)	3 (60.0%)	1 (50.0%)
	病院・診療所の薬剤師	1 (20.0%)	0 (0.00%)
	管理栄養士 (やまぐち栄養ケア・ステーションほか)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	社会福祉士	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	介護福祉士	1 (20.0%)	0 (0.00%)
	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	3 (60.0%)	1 (50.0%)
	歯科衛生士	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	その他	1 (20.0%)	0 (0.00%)

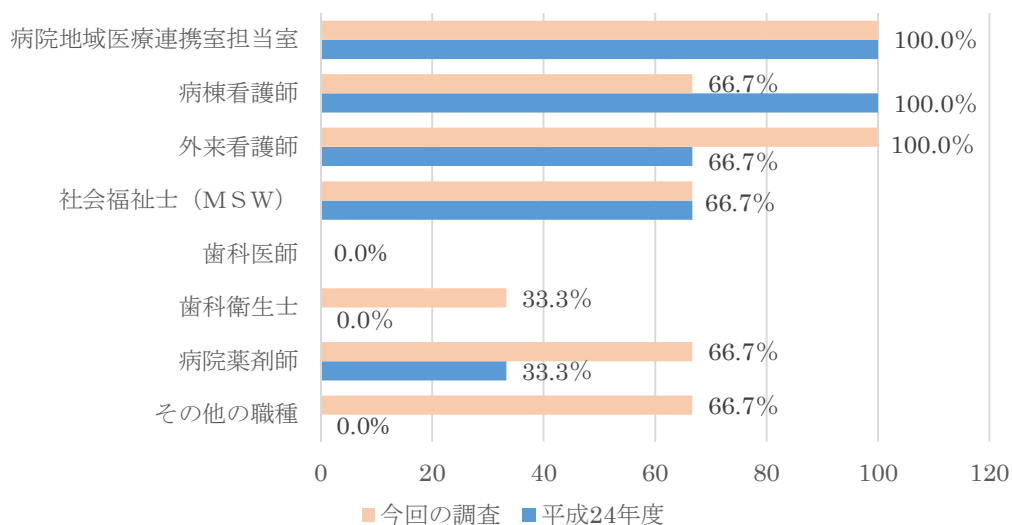
医師以外に直接連携する職種 (薬局)



(単位：事業所) (複数回答)

○訪問看護ステーション (対象：3 事業所)		今回の調査	平成 24 年度
	病院地域医療連携室担当者	3 (100.0%)	3 (100.0%)
	病棟看護師	2 (66.7%)	3 (100.0%)
	外来看護師	3 (100.0%)	2 (66.7%)
	社会福祉士 (MSW)	2 (66.7%)	2 (66.7%)
	歯科医師	0 (0.00%)	0 (0.00%)
	歯科衛生士	1 (33.3%)	0 (0.00%)
	病院薬剤師	2 (66.7%)	1 (33.3%)
	その他の職種	2 (66.7%)	0 (0.00%)

医師以外に直接連携する職種（訪問看護ステーション）

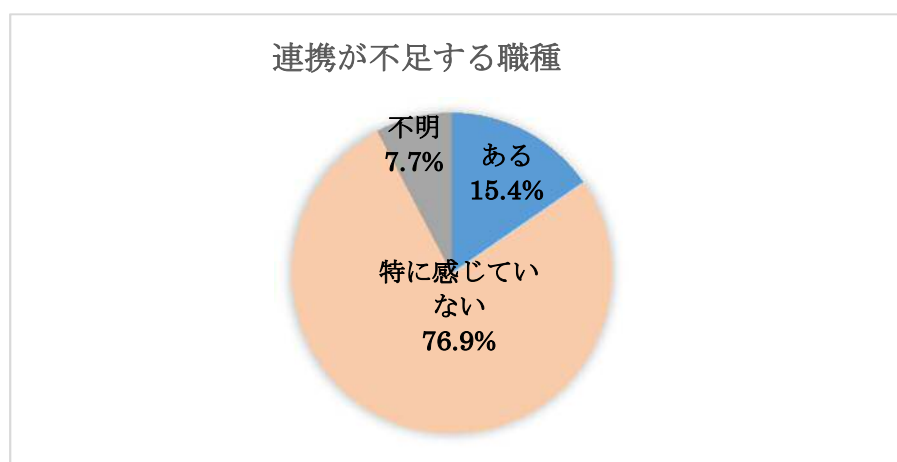


⑭連携が必要な職種（病院・診療所）

在宅医療を進める上で、病院・診療所において連携が不足していると感じる職種について、「ある」は2医療機関で16.7%、「特に感じていない」は10医療機関83.3%であった。また、具体的な職種としては、「中核病院の医師」「介護支援事業所（ケアマネジャー）」であった。

（単位：医療機関）

○病院・診療所（対象：13医療機関）		今回の調査
ある		2（15.3%）
特に感じていない		10（76.9%）
不明		1（7.7%）

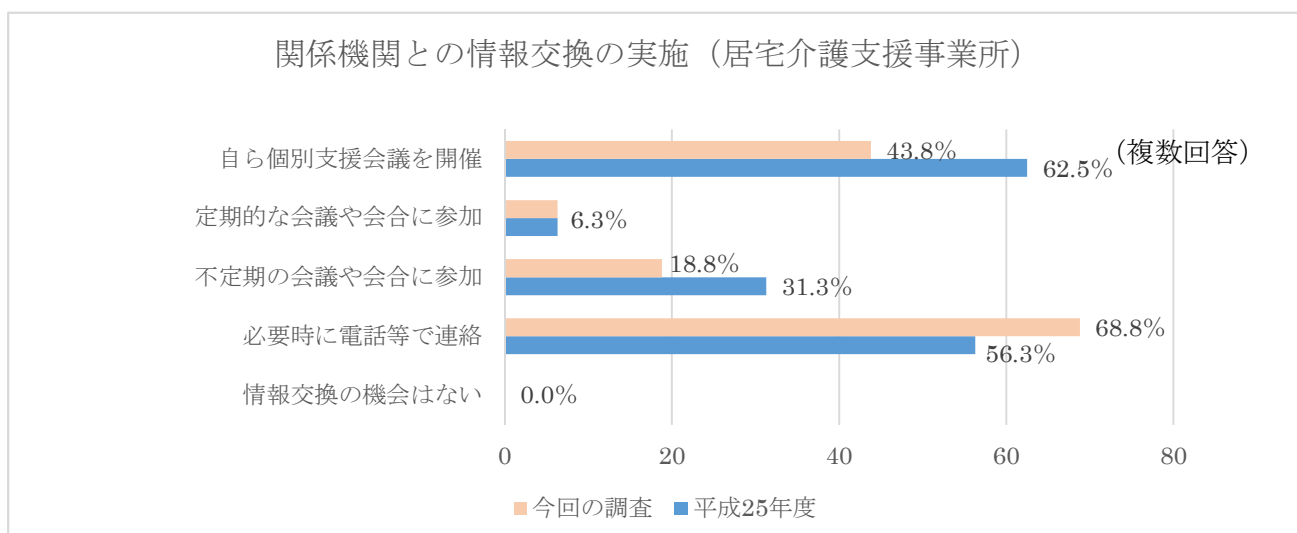


⑮関係機関との情報交換の実施（居宅介護支援事業所）

居宅介護支援事業所では、「必要時に電話で連絡」が11事業所で68.8%と最も多く、次いで「自ら個別支援会議を開催」が7事業所43.8%、「不定期の会議や会合に参加」が3事業所18.8%であった。

（単位：事業所）（複数回答）

○居宅介護支援事業所（対象：16事業所）		今回の調査	平成25年度
自ら個別支援会議を開催		7（43.8%）	10（62.5%）
定期的な会議や会合に参加		1（6.3%）	1（6.3%）
不定期の会議や会合に参加		3（18.8%）	5（31.3%）
必要時に電話等で連絡		11（68.8%）	9（56.3%）
情報交換の機会はない		0（0.00%）	0（0.00%）



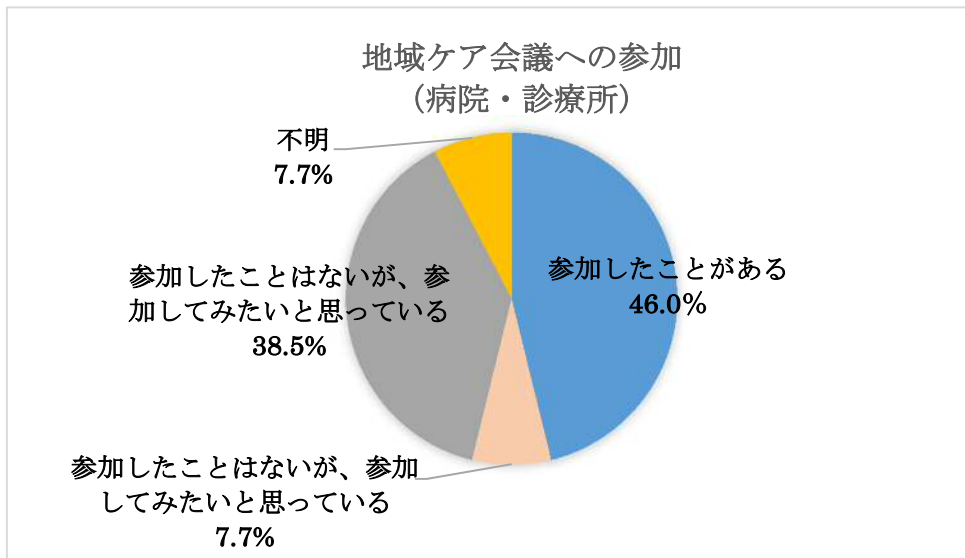
⑯地域ケア会議への参加

（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所）

地域ケア会議への参加について、「参加したことがある」が「参加したことはない」を上回ったのは、病院・診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所で、特に訪問看護ステーションは「参加したことがある」「参加したことはないが、参加してみたいと思っている」をあわせると3事業所100.0%であった。また、歯科診療所についても、「参加したことがある」が7歯科診療所70.0%と、「参加したことはない」を大きく上回っており、地域ケア会議への参加に対し積極的である。

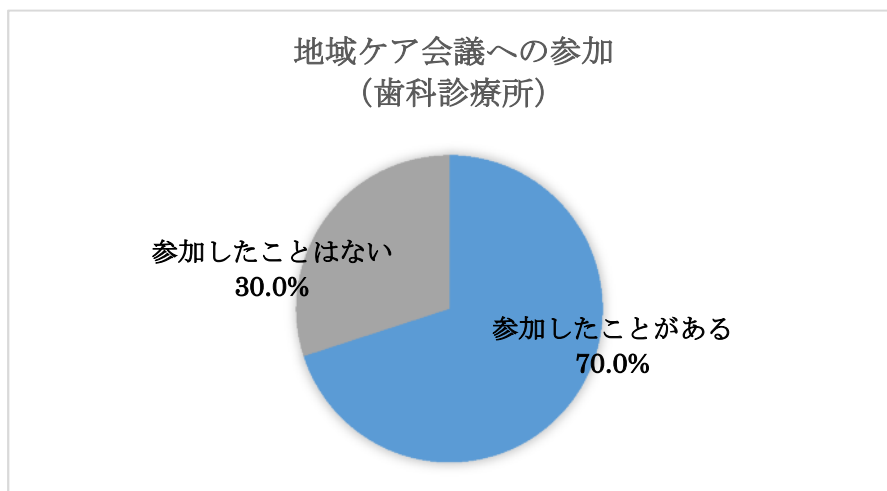
(単位：医療機関)

○病院・診療所（対象：13 医療機関）		今回の調査
	参加したことがある	6 (46.0%)
	参加したことはないが、参加してみたいと思っている	1 (7.7%)
	参加したことはない	5 (38.5%)
	不明	1 (7.7%)



(単位：歯科診療所)

○歯科診療所（対象 10 歯科診療所）		今回の調査
	参加したことがある	7 (70.0%)
	参加したことはないが、参加してみたいと思っている	0 (0.00%)
	参加したことはない	3 (30.0%)



(単位：事業所)

○薬局（対象：5 事業所）		今回の調査
	参加したことがある	2 (40.0%)
	参加したことはないが、参加してみたいと思っている	2 (40.0%)
	参加したことはない	1 (20.0%)

(単位：事業所)

○訪問看護ステーション（対象：3 事業所）		今回の調査
	参加したことがある	2 (66.7%)
	参加したことはないが、参加してみたいと思っている	1 (33.3%)
	参加したことはない	0 (0.00%)

(単位：事業所)

○介護老人保健施設（対象：2 事業所）		今回の調査
	参加したことがある	1 (50.0%)
	参加したことはないが、参加してみたいと思っている	0 (0.00%)
	参加したことはない	1 (50.0%)

(単位：事業所)

○居宅介護支援事業所（対象：16 事業所）		今回の調査
	参加したことがある	10 (62.4%)
	参加したことはないが、参加してみたいと思っている	1 (6.3%)
	参加したことはない	4 (25.0%)
	不明	1 (6.3%)

